



関中央ロータリークラブ

2017-2018 WEEKLY REPORT

例会日 毎週木曜日 18時30分

例会場 関観光ホテル（関市池尻91-2）

事務局 関市西本郷通5-2-53 TEL(0575)24-7332 FAX(0575)23-5278

会長 波多野 好文 **副会長** 佐藤 忍 **幹事** 長谷川 修 **クラブ会報委員長** 大藪 太

2017～2018年度国際ロータリー

イアン H.S. ライズリー会長



2017～2018年度関中央ロータリークラブ会長テーマ

「親睦からのロータリー」

本日のプログラム 第1932回例会 2018年3月8日（木）

親睦例会 / 担当 親睦活動委員会

前例会の記録

第1931回 2018年3月1日（木）

卓話 岐阜県文化財保護協会理事

〃 〃 関支部長 後藤章様

テーマ 「織田信長の東美濃攻略」

／担当 雑誌・広報委員会

*国歌「君が代」斉唱

*ロータリーソング「奉仕の理想」斉唱

*お客様の紹介

岐阜県文化財保護協会理事・関支部長 後藤章様

*会長あいさつ 波多野好文会長

皆さんこんばんは、寒い冬もようやく終わりを迎え、大変暖かくなってきました。まさに三寒四温という言葉がピッタリの季節になってきました。この三寒四温という言葉ですが、中国北部で生まれた言葉で、まさに三日寒いが有って、四日暖かい日が有るといふ日本では春先に使われていますが、俳句では冬の季語です。中国北部では、冬に三日寒い日が続く、その次に四日暖かい日が来ることはよくあるそうですが、日本ではそういうことはほとんどなく、春先に使われるようになったそうです。



さて暖かくなると、やっかいなものが飛んできま

す。花粉です。日本の人口の約30%の人が、軽かったり重かったりいろいろありますが、花粉症だそうなんです。私ももう40年以上花粉症と付き合っています。皆さんの中にも花粉症の方はたくさん見えますと思います。きれいな桜の花の咲く前には、避けては通れないと諦めています。本当に何とかしたいものです。最近はいろんな薬や、マスク等のグッズが出ていますが、どれも私には苦痛で効果がないようです。又、花粉の出ない杉やヒノキが開発されている様ですが、日本中の杉やヒノキを花粉の出ないものに変えるには気の遠くなる時間がかかるように思われます。花粉の飛ぶ予想ですが、岐阜県は日本気象協会では昨年度の2倍となっており、もう一つのウエザーニュースは昨年度のおよそ半分となっていますが、どちらを信じたらよいのでしょうか。私は少ない方を信じたいです。さて、気象庁では12月～2月までを冬と定めており、もう今年冬は終わったわけですが、統計では今年の冬は寒かったようです。とくに日本海側にたくさんの雪が降り、被害も出ましたが、岐阜に関しては雪はあまり降りませんでした、スキー場が有る所のみたくさんの雪が降り、大変良い冬だったと言えます。

冬が寒いと待ち遠しいのが桜です。今年もここ関観光ホテルで関ロータリークラブのホストで花見例

会が4月3日に開かれる予定です。今年の開花予想では、今の所平年並みかやや早いとなっています。ちょうどそのころには、満開になっているのではないのでしょうか。皆様の多数の参加をよろしく願います。よく桜の下でシートをひいて場所をとり宴会とかしていますが、あれは日本だけだそうです。外国人から見ると、不思議な光景に見えるそうです。季節の

移ろいを表すのは、日本人は天才だそうです。春が来ると言って、来る春を歓迎して、夏が行くと言っていく夏を惜しみ、秋が深まると言って物さみしさを強調する。特に秋が深まるは英語ではピッタリの言葉はないそうです。春の桜の時期は日本人に生まれてよかったと、皆さん思える時期ではないでしょうか。

***卓 話 岐阜県文化財保護協会理事・関支部長 後藤 章様**
 テーマ 「織田信長の東美濃攻略」－関市に残る信長の足跡－



信長は永禄10年(1567)の今から450年前に稲葉山城を攻め落とし、居城を小牧から井之口へ移し岐阜と改め城下町を形成する。その後「天下布武」の印を使い始め、天下統一の足がかりを掴むことになる。何度も試みた長良川を遡った西美濃からの攻略が難しいと知ると、岐阜入城2年前の永禄8年(1565)狙いを木曾川を渡った東美濃に定め、稲葉山の背後を落とす作戦に出る。情報によって東美濃は一枚岩でないことを掴み、寝返りによって切り崩しを図っていった。小牧から犬山、各務原・坂祝・富加・関と侵攻していくなか、東美濃の玄関口にあたる坂祝の猿啄城、富加の堂洞城攻めの激戦を行った。そして、最終目標の東美濃の盟主である関城主の長井隼人を滅ぼし、関を手に入れる事であったと考えられる。関城周辺の戦いでは、津保川を挟んで肥田瀬砦の攻防戦、関城を守る梅竜寺山砦・一つ山砦・十六所砦の攻防戦が行われた。関の町衆の寝返りや関城の構造からして、まともに戦えない事を感じて、長井隼人は岐阜城へ落ち延びることとなる。その後、信長は家来に任せてすぐに小牧に帰るのであるが、北西部(武芸川・洞戸)方面には、言い伝えとして焼き討ちや虐殺が行われた話が残されている。これはまだ信長に従わない土豪達を家来が平定したのではないかと思われる。信長が関まで攻めてきたことについて、まだ知らない人が多いと思われます。関での戦いの様子や関連の場所を知って、商業都市としての関の町衆の様子や当時の刃物産業を手に入れる事で、関が信長に与えた影響について明らかにしたいと思います。

織田信長の永禄8年(1565)東美濃攻略年表

| 元号 | 西暦 | 歳 | 日付 | 主な出来事(日付は旧暦) | 参考文献・資料 |
|-----|------|----|--------------------|---|---|
| 永禄3 | 1560 | 27 | | 5月桶狭間の戦いで今川義元の軍勢を破る | 信長公記 |
| 永禄4 | 1561 | 28 | | 岐阜城主、斉藤義龍35歳で急死。龍興14歳で家督を継ぐ 5月13日信長西美濃へ出兵 | 信長公記 |
| 永禄5 | 1562 | 29 | | 清洲城で松平元康(家康)と同盟。東の脅威を取り除く | 信長公記 |
| 永禄6 | 1563 | 30 | | 7月美濃攻略の拠点として小牧山城築城 信長の東美濃侵攻に備えるために中濃地域の要の城の関城主(長井隼人正道利)堂洞城主(岸勘解由信周)加治田城主(佐藤紀伊守忠能)による同盟が結ばれる | 信長公記 堂洞軍記 |
| 永禄7 | 1564 | 31 | | 北近江の浅井長政と同盟。妹のお市を興入れ 斉藤龍興の家臣竹中重治と安藤守就が造反し、稲葉山城を乗っ取る | 信長公記 |
| 永禄8 | 1565 | 32 | 8/25 | 尾張の国に残る反信長派の拠点犬山城主(織田信清)を攻略 犬山の右岸の伊木山を占領して城を築く。鶉沼城を威圧 | 信長公記 堂洞軍記 |
| | | | 8/27 新暦 9/21 | 猿啄城を攻める。勝利して勝山と改める。戦功のあった川尻肥前守は勝山城主となる。 信長高畑山に本陣をおく、別働隊津保川左岸に配し備える。 金森長近を軍使として佐藤、岸を味方に付くよう説得。 岸は拒んだが佐藤は信長に寝返りを決める。 | 南北三城軍記 永禄美濃軍記 富加町史 関市史 武芸川町史 関のむかし話 歴史読本織田信長 岐阜信長歴史読本 戦国合戦大辞典 |

| 元号 | 西暦 | 歳 | 日付 | 主な出来事（日付は旧暦） | 参考文献・資料 |
|------|------|----|-------------|---|---------|
| | | | 8/28 | 岸信周の子信房は自分の子ども2人を殺して覚悟を決める。 信房は忠能の娘である妻を殺しさらす 堂洞城を攻める 関城の長井隼人は堂洞城の救援に出撃、肥田瀬の砦を足場に 津保川を渡り、川岸に警備中の織田勢を蹴散らし加治田城を 攻撃するが、斉藤新五郎に阻まれる。 信長本陣からの加勢で右側面を突かれそうになったので肥 田瀬まで退却。追撃の斉藤勢と川を挟んで対峙。 信長は加治田の佐藤忠能の屋敷に泊まる。 | |
| | | | 8/29 | 加治田城下で討ち取った岸方の首実検を行う 犬山へ帰還途中、帰還関城から中長井道利と井口から斉藤龍 興援軍合わせて3000人余りで襲いかかる。 信長の手兵は800ばかりで合戦は無理と感じ、鶴沼へ退却 信長は斉藤利治を主将に援軍500を派遣 長井勢は絹丸の捨堀に押し寄せる。佐藤忠康討死 湯浅讃岐が長井勢を突き崩し津保川まで追い詰める 肥田忠政が押し寄せ佐藤忠能と川浦川で戦闘関軍負けて撤 退 | |
| | | | 8/30 | 人馬の休息を兼ねて出撃の準備と陣容を整える | |
| | | | 9/1 | 長井隼人は加治田城を攻める 信長は斉藤新五郎500騎を加治田へ援軍を差し向ける 加治田城の斉藤は長井の攻撃を防ぐ、長井は肥田瀬に退く 斉藤、佐藤を先鋒に丹羽、川尻も津保川を渡って関城等迫る 肥田瀬川原の合戦で長井軍敗れる 川沿いに西進して梅龍寺、一つ山、十六所の諸砦を攻める 残兵で関城を守ったが信長軍が到着すると退散する 関城落城して長井は岐阜城へ退却する 信長の兵が帰陣すると稲葉山城の斉藤兵3000余り繰り出す 長井の残兵と共に信長を襲ったが多くの死傷者を出し撤退 弥勒寺兵火によって消失、広見城主武藤淡路守鬨死 | |
| 永禄9 | 1566 | 33 | 8/8 9/24 | 龍興と戦うが敗北 墨俣城を築き龍興の軍を破る | |
| 永禄10 | 1567 | 34 | 8/15 | 稲葉山城を攻略し小牧から居城を移し井之口を岐阜と改め る | 信長公記 |

*出席委員会

会員数31名、本日の出席18名です。

*ニコボックス委員会

・会長

岐阜県文化財保護協会理事・関支部長 後藤章様ようこそおいで下さいました。卓話よろしくお願ひします。

・塚原康寿君

後藤先生の信長と関の関係をじっくり聞いて下さい。

・広瀬恒行君

両眼の白内障の手術が無事終わりました。

・小澤重忠君

後藤様の信長のお話拝聴楽しみにしております。

18名のご投函ありがとうございました。

*幹事報告

・例会終了後、理事・役員会を行います。

<次例会の案内>

第1933回 2018年3月15日(木)

「C・A 会長エレクト研修セミナー報告」

担当：次期会長・幹事